

新旧比較表 (公表用)

現行	改訂後	備考																																																																																	
<p>D10900101100 埋め戻し工(バックホウ投入) 注: 山積0.13~0.8m3共通</p> <p>1 適用範囲 水道工事の掘削工事に適用する。 ・バックホウ投入費 ・転圧費</p> <p>2 施工歩掛</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>～ 歩掛表省略 ～</p> </div> <p>備考1 埋戻巾が広く転圧において、振動ローラ及びブルドーザの使用が可能な場合は、別途積算のこと。 備考2 埋戻機種は、原則として掘削機種と統一すること。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <table border="1" style="font-size: small;"> <caption>表-1 バックホウ運転時間(100m3当り)</caption> <thead> <tr><th>掘削機種</th><th>運転時間(h)</th><th>運転時間(日)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>山積0.13m3 [平積0.10m2]</td><td>9.90</td><td>1.54</td></tr> <tr><td>山積0.28m3 [平積0.20m3]</td><td>7.60</td><td>—</td></tr> <tr><td>山積0.45m3 [平積0.35m3]</td><td>6.20</td><td>—</td></tr> <tr><td>山積0.80m3 [平積0.60m3]</td><td>4.50</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <table border="1" style="font-size: small;"> <caption>表-2 バックホウ投入補助歩掛(100m3当り)</caption> <thead> <tr><th>名称</th><th>単位</th><th>数量</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>世話役</td><td>人</td><td>2.50</td></tr> <tr><td>普通作業員</td><td>人</td><td>3.80</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <table border="1" style="font-size: small;"> <caption>表-3 タンパ締固歩掛(100m3当り)</caption> <thead> <tr><th>名称</th><th>単位</th><th>数量</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>普通作業員</td><td>人</td><td>3.00</td></tr> <tr><td>タンパ運転</td><td>日</td><td>3.00</td></tr> </tbody> </table> </div> <p>備考3 水道事業実務必携 1-1-2管路埋戻歩掛表による。(第7～14表)</p>	掘削機種	運転時間(h)	運転時間(日)	山積0.13m3 [平積0.10m2]	9.90	1.54	山積0.28m3 [平積0.20m3]	7.60	—	山積0.45m3 [平積0.35m3]	6.20	—	山積0.80m3 [平積0.60m3]	4.50	—	名称	単位	数量	世話役	人	2.50	普通作業員	人	3.80	名称	単位	数量	普通作業員	人	3.00	タンパ運転	日	3.00	<p>D10900101100 埋め戻し工(バックホウ投入) 注: 山積0.13~0.8m3共通</p> <p>1 適用範囲 水道工事の掘削工事に適用する。 ・バックホウ投入費 ・転圧費</p> <p>2 施工歩掛</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>～ 歩掛表省略 ～</p> </div> <p>備考1 埋戻巾が広く転圧において、振動ローラ及びブルドーザの使用が可能な場合は、別途積算のこと。 備考2 埋戻機種は、原則として掘削機種と統一すること。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <table border="1" style="font-size: small;"> <caption>表-1 バックホウ運転時間(100m3当り)</caption> <thead> <tr><th>掘削機種</th><th>運転時間(h)</th><th>運転時間(日)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>山積0.13m3 [平積0.10m2]</td><td>9.90</td><td>1.54</td></tr> <tr><td>山積0.28m3 [平積0.20m3]</td><td>7.60</td><td>—</td></tr> <tr><td>山積0.45m3 [平積0.35m3]</td><td>6.20</td><td>—</td></tr> <tr><td>山積0.80m3 [平積0.60m3]</td><td>4.50</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <table border="1" style="font-size: small;"> <caption>表-2 バックホウ投入補助歩掛(100m3当り)</caption> <thead> <tr><th>名称</th><th>単位</th><th>数量</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>世話役</td><td>人</td><td>2.50</td></tr> <tr><td>普通作業員</td><td>人</td><td>3.80</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <table border="1" style="font-size: small;"> <caption>表-3 タンパ締固歩掛(100m3当り)</caption> <thead> <tr><th>名称</th><th>単位</th><th>数量</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>普通作業員</td><td>人</td><td>3.00</td></tr> <tr><td>タンパ運転</td><td>日</td><td>3.00</td></tr> </tbody> </table> <table border="1" style="font-size: small;"> <caption>表-4 タンパ指定事項</caption> <tbody> <tr><td>運転労務数量</td><td>人</td><td>1</td></tr> <tr><td>燃料消費量</td><td>L</td><td>5</td></tr> <tr><td>機械賃料数</td><td>日</td><td>1.38</td></tr> <tr><td>主燃料</td><td></td><td>ガソリン</td></tr> <tr><td>運転時間</td><td>h/日</td><td>5</td></tr> </tbody> </table> </div> <p>備考3 水道事業実務必携 1-1-2管路埋戻歩掛表による。(第7～14表)</p>	掘削機種	運転時間(h)	運転時間(日)	山積0.13m3 [平積0.10m2]	9.90	1.54	山積0.28m3 [平積0.20m3]	7.60	—	山積0.45m3 [平積0.35m3]	6.20	—	山積0.80m3 [平積0.60m3]	4.50	—	名称	単位	数量	世話役	人	2.50	普通作業員	人	3.80	名称	単位	数量	普通作業員	人	3.00	タンパ運転	日	3.00	運転労務数量	人	1	燃料消費量	L	5	機械賃料数	日	1.38	主燃料		ガソリン	運転時間	h/日	5	<p style="color: red; text-align: center;">重機の指定事項を追記</p>
掘削機種	運転時間(h)	運転時間(日)																																																																																	
山積0.13m3 [平積0.10m2]	9.90	1.54																																																																																	
山積0.28m3 [平積0.20m3]	7.60	—																																																																																	
山積0.45m3 [平積0.35m3]	6.20	—																																																																																	
山積0.80m3 [平積0.60m3]	4.50	—																																																																																	
名称	単位	数量																																																																																	
世話役	人	2.50																																																																																	
普通作業員	人	3.80																																																																																	
名称	単位	数量																																																																																	
普通作業員	人	3.00																																																																																	
タンパ運転	日	3.00																																																																																	
掘削機種	運転時間(h)	運転時間(日)																																																																																	
山積0.13m3 [平積0.10m2]	9.90	1.54																																																																																	
山積0.28m3 [平積0.20m3]	7.60	—																																																																																	
山積0.45m3 [平積0.35m3]	6.20	—																																																																																	
山積0.80m3 [平積0.60m3]	4.50	—																																																																																	
名称	単位	数量																																																																																	
世話役	人	2.50																																																																																	
普通作業員	人	3.80																																																																																	
名称	単位	数量																																																																																	
普通作業員	人	3.00																																																																																	
タンパ運転	日	3.00																																																																																	
運転労務数量	人	1																																																																																	
燃料消費量	L	5																																																																																	
機械賃料数	日	1.38																																																																																	
主燃料		ガソリン																																																																																	
運転時間	h/日	5																																																																																	

新旧比較表 (公表用)

現行	改訂後	備考																																																																								
<p>軽量鋼矢板賃料</p> <p>1 適用範囲 軽量矢板土留工に適用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 矢板賃料の供用日数の算出にあたって、工期及び安全費(交通誘導警備員)算出書を使用し算出すること。 条件:⑦舗装切断、⑧舗装工を除いた工事日数を基本とし算出すること。 矢板の供用日数=(工事日数(昼間+夜間)-⑦-⑧)×供用率1.5+5日(搬入搬出) 矢板賃料は供用日数に応じて、30,60,90,120,150日以内を適用する。 矢板賃料の最低保障日数は30日とする。 土留機材の整備費は原則として転用回数の補正を行わないものとする。 ・ 修理費は、建込引抜きの場合「軽作業」とする。 賃料及び修理損耗費は1現場1セットを基本とする。 <p>2 施工歩掛 D10740330102(下水道積算基準)を適用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 矢板賃料に係る重量は下表による。 <table border="1" data-bbox="296 835 1044 1003"> <thead> <tr> <th>適用ケース</th> <th>掘削深(m)</th> <th>矢板長(m)</th> <th>所要枚数</th> <th>1枚当重量(kg)</th> <th>1組当重量(t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>—</td> <td>2.00</td> <td>40</td> <td>23.6</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1.50</td> <td>2.00</td> <td>160</td> <td>23.6</td> <td>3.78</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>2.00</td> <td>2.50</td> <td>160</td> <td>29.5</td> <td>4.72</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>2.50</td> <td>3.00</td> <td>160</td> <td>35.4</td> <td>5.66</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>3.00</td> <td>3.50</td> <td>160</td> <td>41.3</td> <td>6.61</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考1 土留工が割T字部、継手部、分水部など局所的な施工のみで、直線的な管路土留工を伴わない場合には、ケース1を適用する。</p> <p>備考2 ケース2～5は、直線管路部の土留工を施工する場合等に適用する。 ・管路土留工の1セット当り延長は20mとし、矢板幅25cm/枚から、所要数量160枚(両側)を想定している。</p> <p>備考3 上記歩掛の細別条件の選定方法 ・J01:持込数量:上記表の1組当り重量を入力 ・J02:修理損耗:軽作業とする。 ・J03:使用回数:1回とする。 ・J04:日数:30から150日まで、30日刻みで入力</p> <p>備考4 上記歩掛には、修理損耗費を含む。</p> <p>備考5 パイロハンマ工及び油圧圧入引き抜き工の場合には適用しない。</p> <p>備考6 仮設材は運搬費、積込・取卸費を共通仮設費の積上げとして計上する。</p>	適用ケース	掘削深(m)	矢板長(m)	所要枚数	1枚当重量(kg)	1組当重量(t)	1	—	2.00	40	23.6	1.00	2	1.50	2.00	160	23.6	3.78	3	2.00	2.50	160	29.5	4.72	4	2.50	3.00	160	35.4	5.66	5	3.00	3.50	160	41.3	6.61	<p>軽量鋼矢板賃料</p> <p>1 適用範囲 軽量矢板土留工に適用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 矢板賃料の供用日数の算出にあたって、工期及び安全費(交通誘導警備員)算出書を使用し算出すること。 条件:⑦舗装切断、⑧舗装工を除いた工事日数を基本とし算出すること。 矢板の供用日数=(工事日数(昼間+夜間)-⑦-⑧)×供用率1.5+5日(搬入搬出) 矢板賃料は供用日数に応じて、30,60,90,120,150日以内を適用する。 矢板賃料の最低保障日数は30日とする。 土留機材の整備費は原則として転用回数の補正を行わないものとする。 ・修理費及び損耗費は、札幌市下水道管路工事積算基準 07土留工 7単価表 (2)軽量鋼矢板土留により積算するものとする。 賃料及び修理損耗費は1現場1セットを基本とする。 ・別途仮設材の運搬費、積込・取卸費を共通仮設費の積上げとして計上する。 <p>2 施工歩掛 ・矢板賃料に係る重量は下表による。</p> <table border="1" data-bbox="1448 869 2226 1045"> <thead> <tr> <th>適用ケース</th> <th>掘削深(m)</th> <th>矢板長(m)</th> <th>所要枚数</th> <th>1枚当重量(kg)</th> <th>1組当重量(t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>—</td> <td>2.00</td> <td>40</td> <td>23.6</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1.50</td> <td>2.00</td> <td>160</td> <td>23.6</td> <td>3.78</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>2.00</td> <td>2.50</td> <td>160</td> <td>29.5</td> <td>4.72</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>2.50</td> <td>3.00</td> <td>160</td> <td>35.4</td> <td>5.66</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>3.00</td> <td>3.50</td> <td>160</td> <td>41.3</td> <td>6.61</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考1 土留工が割T字部、継手部、分水部など局所的な施工のみで、直線的な管路土留工を伴わない場合には、ケース1を適用する。</p> <p>備考2 ケース2～5は、直線管路部の土留工を施工する場合等に適用する。 ・管路土留工の1セット当り延長は20mとし、矢板幅25cm/枚から、所要数量160枚(両側)を想定している。</p> <p>備考3 上記歩掛の細別条件の選定方法 ・持込数量:上記表の1組当り重量を入力 ・日数:30から150日まで、30日刻みで入力</p>	適用ケース	掘削深(m)	矢板長(m)	所要枚数	1枚当重量(kg)	1組当重量(t)	1	—	2.00	40	23.6	1.00	2	1.50	2.00	160	23.6	3.78	3	2.00	2.50	160	29.5	4.72	4	2.50	3.00	160	35.4	5.66	5	3.00	3.50	160	41.3	6.61	<p>仮設材の修理・損耗費について、適用している歩掛の変更にもない改訂</p>
適用ケース	掘削深(m)	矢板長(m)	所要枚数	1枚当重量(kg)	1組当重量(t)																																																																					
1	—	2.00	40	23.6	1.00																																																																					
2	1.50	2.00	160	23.6	3.78																																																																					
3	2.00	2.50	160	29.5	4.72																																																																					
4	2.50	3.00	160	35.4	5.66																																																																					
5	3.00	3.50	160	41.3	6.61																																																																					
適用ケース	掘削深(m)	矢板長(m)	所要枚数	1枚当重量(kg)	1組当重量(t)																																																																					
1	—	2.00	40	23.6	1.00																																																																					
2	1.50	2.00	160	23.6	3.78																																																																					
3	2.00	2.50	160	29.5	4.72																																																																					
4	2.50	3.00	160	35.4	5.66																																																																					
5	3.00	3.50	160	41.3	6.61																																																																					